



テーマ 外国にルーツを持つ子どもたち ^{Part} 2

外国出身のおとなりさんやお友だちはいませんか？

仙台市の外国人人口は、1万人以上。*

多様な文化を持つ人たちが共に暮らす、「**多文化共生**」のまちづくり、あなたのご近所でも始めてみませんか？

第5号

企画・発行
仙台観光国際協会
センティア SenTIA



ジュンコの
たぶんか
探検記

先輩から後輩へ 経験を生かして受験勉強をサポート

今回は、仙台駅近くのフリースペースで行われている外国にルーツを持つ子どもたちの学習支援の様子取材しました。教えているのは、自分も外国にルーツを持つ大学生。日本での受験を乗り越えた経験を生かし、同じルーツをもつ後輩の受験勉強を手伝っています。 → 本編は2ページへ



取材
メモ

外国人の子ども・サポートの会

外国にルーツを持つ子どもたちの日本語学習や教科学習を支援する、ボランティアの会です。放課後や週末、市内のフリースペースを使って、子どもとボランティアがマンツーマンで勉強をします。来日数年で高校・大学受験にチャレンジしなければならない子どもたちも積極的にサポート。今、支援を受けている子どもたちは50名近く。困難な境遇に置かれた子どもたちに寄り添いながら、その成長も見守っています。

* 2016年12月末現在 仙台市の外国人住民数 12,113人 (仙台市交流企画課 資料)

☆ ジュンコの たのびんが探検記 ☆

⑤ 外国にルーツを持つ 子どもたち(その2)

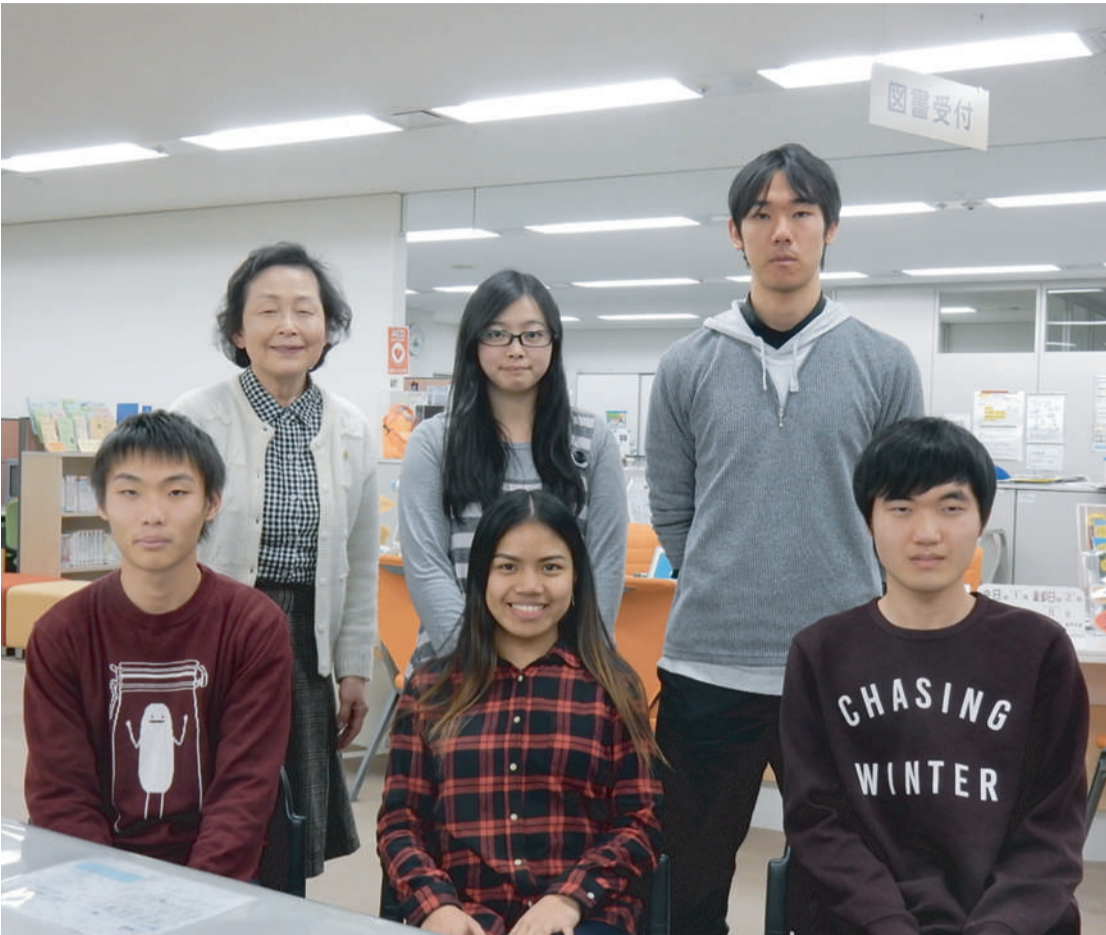
佐藤 俊彦 ジュンコ



佐藤ジュンコ:イラストレーター。福島生まれ、福島育ち、仙台暮らし。著作に、宮城県内の見所を紹介する「マッチ箱マガジン」シリーズ(佐々木印刷所)、『佐藤ジュンコのひとり飯な日々』(ミシマ社)、『月刊佐藤純子』(ちくま文庫)。現在、月刊誌「PHPスペシャル(PHP 研究所)」、ウェブマガジン「みんなのミシマガジン」(ミシマ社)、河北新報夕刊「街で会いましょう」等で連載中。

外国にルーツを持つ子どもたちの成長を支える

外国人の子ども・サポートの会



2005年4月に4人のメンバーの勉強会から始まった「外国人の子ども・サポートの会」。その翌年、中国出身の中学生を支援することになってから、本格的な活動が始まりました。

「場所を借りるお金がなくて公共施設のフリースペースで活動を始めたのですが、それが逆に良かったです。オープンな場なので、子どもたちはいろいろな人に出会えます。毎回来るうちに顔見知りが出て来て、知らない人とのコミュニケーションも生まれます。彼らにとつてすごくいい影響があるんですね」と話す、会の代表 田所希衣子さん。

兄弟のように寄り添い支援

会では、日本語が不自由で学校の勉強についていけない子の学習支援や、日本で高校・大学進学を目指す子どもたちの受験勉強支援など、より困難なケースに積極的に取り組んでいます。

支援が必要な子が来たら、事務局が段取りをして、5〜6人のサポーターでチームを作り、毎回1対1で学習を支援。日本語学習とともに、学校の授業や受験に必要な教科学習の支援も行います。サポーターは学生や社会人ボランティア。事前に研修を受けて支援に入ります。

「この会は塾ではありません。サポーターは子どもたちに兄弟のように寄り添い、どんな勉強をしていけばよいか一緒に考えます。1週間に1回自分のために時間を使い、そばで励まして

くれる人がいる。その存在が困難を抱えた子どもたちの支えになっていると思います」

壁を乗り越えていく子どもたち

会員4人と生徒1人で始まった会も、今はサポーターが約60人、支援している子どもたちは50人近くに（2017年3月現在）。会の支援を受けて大学生や社会人になった子どもたちは、かつての自分たちと同じ境遇にある後輩たちをサポートする側に回っています。

「子どもたちは、日本で生きていくためにいくつもの壁を乗り越えなければなりません。サポートする側も、子どもたちの頑張る姿に勇気づけられています」

今までたくさんの子どものために出会ってきた田所さん。彼らの成長も見守ってきました。

「多くの場合、親の都合で日本に来て、初めはものすごく戸惑う。複雑な家族の問題を抱える子どもたちもいます。でも成長していく中で、そういった境遇を受け入れる瞬間があつて、そうすると表情が変わります。そして壁を乗り越えていく」

日本生まれの子どもたちの問題

田所さんが今気になっているのは、日本生まれの、支援が必要な子どもたちだそう。

「幼少期に母語と日本語がミックスされた環境で育ち、どちらの言語も十分でない語彙力・表現力で就学年齢になってしまった子どもたちがいます。普段の会話は大丈夫ですが、学年が上がるにつれ、読み取り・作文が

苦手になります。学校で見過ごされがちな存在なので、注意が必要だと感じています」

会は、これからも一人一人に寄り添ったサポートを続けていきます。

外国にルーツを持つ子どもたちの支援で気をつけたいこと

Q 学校に外国語ができる教師がいません。どう対応していったらいいのでしょうか？

A 日本語が話せない子どもへの指導には通訳者が必要と思われるのですが、日本語学習については、子どもの母語がわからなくても可能です（ALTの先生が英語だけで授業を進めるのと同じ）。子どもたちが、第二言語として日本語を学ぶための教材はいろいろなものがあるが公開されています。

また、日本語がわからなくても、体育や音楽などの実技科目や、給食・掃除などに参加することが大切です。子ども同士のやりとりから、生きた日本語を吸収していきます。

Q 外国にルーツを持つ子どもたちは、どのくらいで日本語を身につけるのでしょうか？

A 一般に日常生活に必要な「生活言語」の習得は1〜2年、学習に必要な「学習言語」の習得は5年以上かかると言われています。特に、学習言語の習得は簡単ではありません。話すのがペラペラなのにテストの点が悪いという場合、学習言語の習得が十分ではない可能性があります。これは学力や発達の問題とは異なります。

外国にルーツを持つ子どもとの相談は、センター国際化事業部までご連絡ください。

外国人の子ども・サポートの会

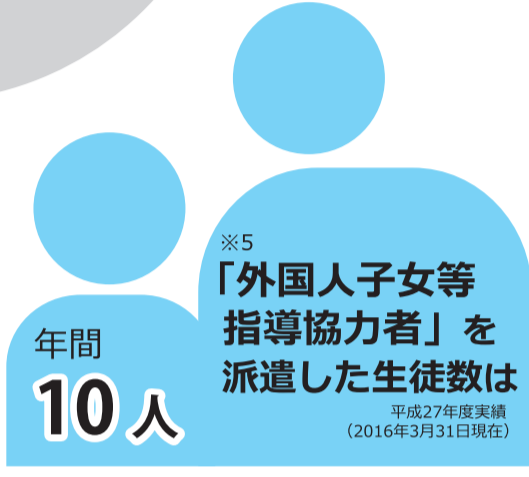
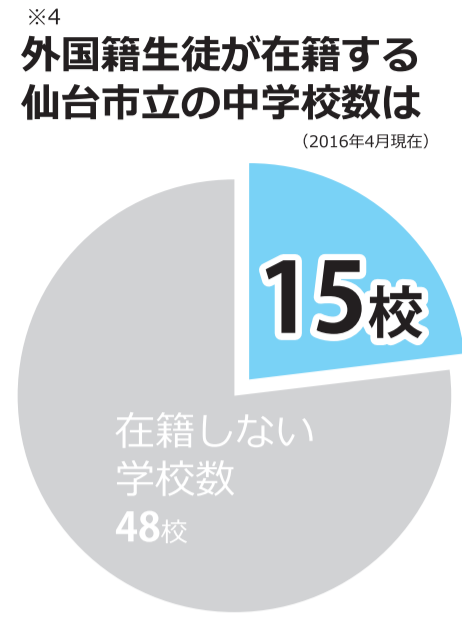
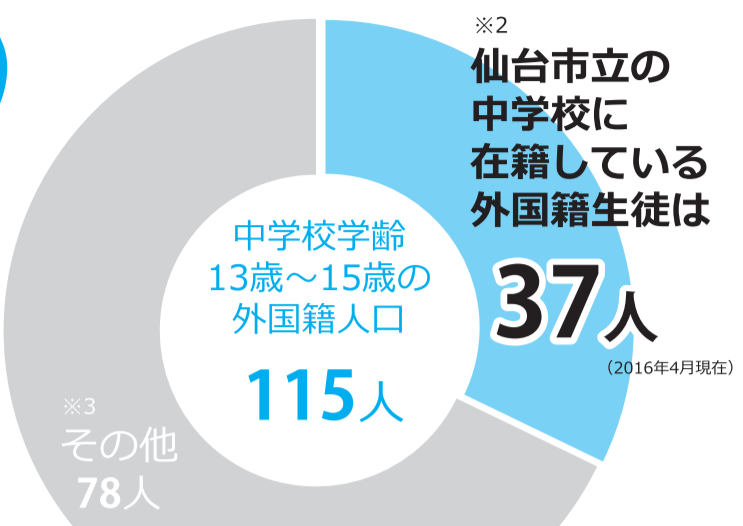
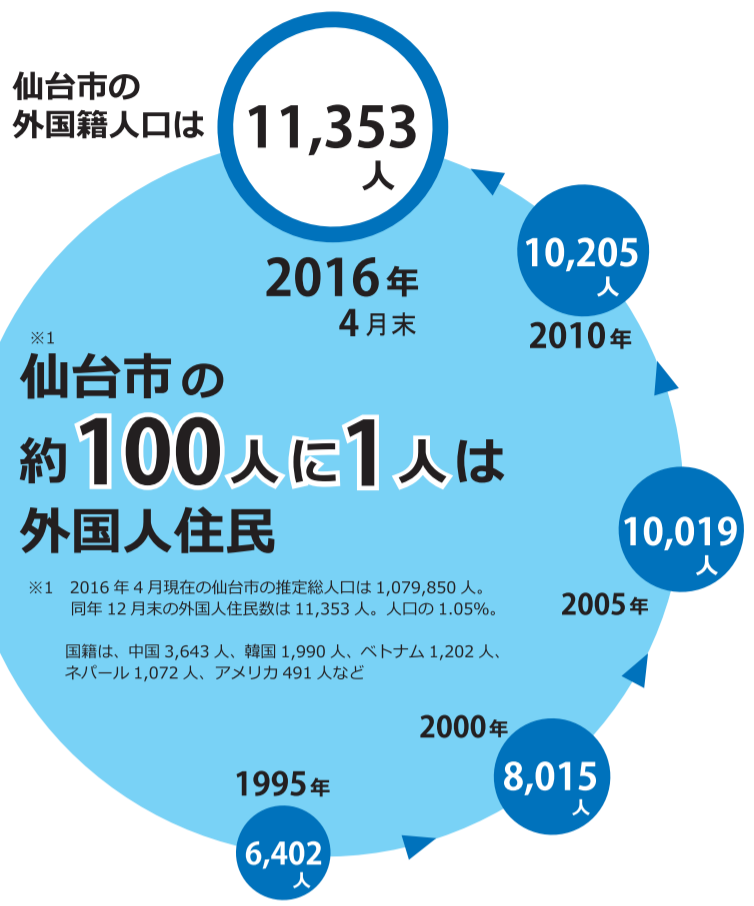
学習日 申し込み後に相談
 時間 申し込み後に相談
 場所 エル・ソーラ仙台 市民交流スペース
 (仙台市青葉区中央1丁目3-1 アエル28階)
 費用 入会金 1,000円
 申込 外国人の子ども・サポートの会
 代表 田所 (たどころ) さんまで
 電話 090-2793-8899
 メール jets@sda.att.ne.jp
 ホームページ
<https://kodomosupport.jimdo.com/>

子どもの状況にあわせて、どんな支援が必要か話し合います。日時も相談し、放課後や週末に勉強します。毎回サポーターと1対1で学習します。

センティアは、外国にルーツを持つ子どもたちをサポートします



仙台には、外国にルーツを持つ中学生(生徒)はどのくらいいるの？



「外国籍」生徒の統計はありますが、日本国籍で外国にルーツを持つ生徒の人数までは把握できていません

統計資料：仙台市

SenTIA「センティア」とは？

(公財) 仙台観光国際協会の略称です。センティア国際化事業部では、言葉や習慣の異なる外国人住民や外国にルーツを持つ人たちが安心して暮らせる多文化共生のまちづくりのため、さまざまな事業を行っています。



※2015年4月、仙台国際交流協会(SIRA)と仙台観光コンベンション協会(STCB)が統合し、仙台観光国際協会(SenTIA: Sendai Tourism, Convention and International Association)が設立されました。

外国にルーツを持つ子どもたちのための支援プログラムがあります

日本語を母語としない子どもと親のための進路ガイダンス

仙台市内で毎年7月、外国にルーツを持つ子ども向けの高校進学に関する説明会と相談会を開催しています。高校に進んだ先輩たち、学校の先生たちが質問に答えてくれます。希望者には通訳も手配します。ウェブサイト <https://shinro-miyagi.jimdo.com/>

※開催日、会場は毎年異なります。仙台観光国際協会にお問い合わせください。



日本語を母語としない小中学生のための夏休み教室

夏休み期間中、外国にルーツを持つ子どもたちの日本語学習や宿題をサポートする1週間程度のプログラムです。例年、青葉区中央市民センターで開催しています。※開催日は毎年異なります。仙台観光国際協会にお問い合わせください。



仙台国際センター交流コーナーでは、通訳サポートや相談対応をしています

仙台国際センター1階の「交流コーナー」では、7言語の通訳サポート電話(英語、中国語、韓国語、ベトナム語、ネパール語、タガログ語、ポルトガル語)や付き添いボランティアの派遣などを行っています。どなたでも無料で利用できます。

【通訳サポート電話】022-224-1919 (9:00am ~ 8:00pm)
【各種相談の電話】022-265-2471 (9:00am ~ 8:00pm)



仙台国際センター交流コーナー (地下鉄「国際センター駅」そば)

外国にルーツを持つ子どもたちの相談は > センティア国際化事業部へ
電話：022-268-6260 FAX：022-268-6252
Email：plan@sentia-sendai.jp
住所：仙台市青葉区大町2丁目2-10 仙台青葉ウイングビルA棟11階

通訳・各種相談は > 仙台国際センター交流コーナーへ
電話：022-265-2471 FAX: 022-265-2472
住所：仙台市青葉区青葉山 仙台国際センター内